

アニマルトラッキングレシーバ

LR-03

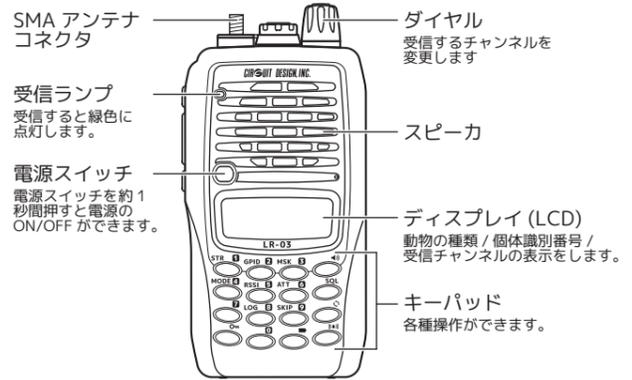
動物発信器用 専用受信機

ファーストステップガイド

ご使用の前に
お読みください使ってみ
ましょう

- 2P: 各部の名称
 3P: STEP1 はじめに、付属部品の取り付け
 4P: STEP2 バッテリーパックの取り付け/外し
 5P: STEP3 バッテリーパックの充電
 6P: STEP4 基本的な使用方法
 7P: STEP5 基本機能
 8P: STEP6 よく使う特殊機能

※詳細な使い方は取扱説明書を参照願います。
 ※本機は、アルインコ株式会社との共同開発です。
 PF0227 20130415



⚠ 注意

- ・使用方法の詳細、安全上のご注意については、本書裏面の注意事項および付属の「取扱説明書」をお読みください。
- ・防水機能について：
JIS防浸保護等級7規格(IPX7)相当の試験に合格しており、防水キャップ類を正しく閉めていれば雨や雪の中でも防水カバー無しでお使いいただけます。ただし、常に雨が当たる環境や、恒常的に水没の恐れのある環境での使用に耐える完全防水、海水がかかる環境での使用で発生する塩害については保証しておりません。
「IPX7相当品」ですので、常に雨が当たる環境や無用な水没、流水での洗浄などは絶対におやめください。

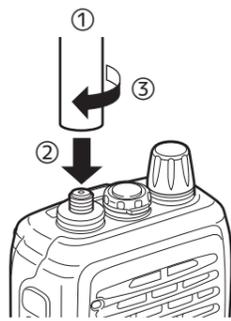
付属品

STEP
1

はじめに、付属部品の取り付け

1 アンテナの取り付け方

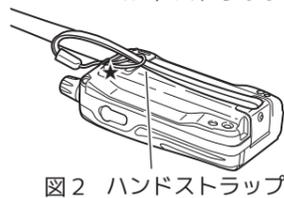
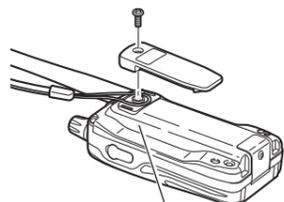
- ①アンテナの根元を持ちます。
- ②アンテナ底面の溝と本体のアンテナコネクタの凸凹部を合わせて差し込みます。
- ③アンテナを時計方向(右)に回します。
- ④回転が止まったら、アンテナを確実に取り付けたことを確認します。



2 ハンドストラップの取り付け方

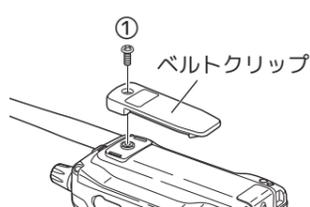
取り付け方には、以下のとおり2つの方法があります。

- ・図1のように、ベルトクリップとハンドストラップを共締めする
- ・図2のように、本機上部後方のストラップ用の穴(★)に、ハンドストラップを通して固定する



3 ベルトクリップの取り付け方

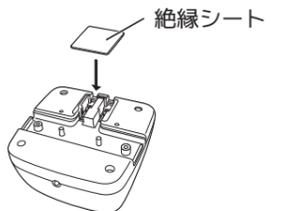
- ①ベルトクリップを本体の背面部の溝に合わせて取り付け、ネジを時計方向(右)に回して固定します。
- ②ベルトクリップを確実に取り付けたことを確認します。



参考：使っているうちにネジが緩んでくることがあります。
ときどき点検してください。

4 付属絶縁シートを充電スタンドに貼り付ける

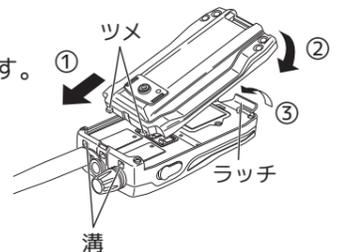
ショート防止のため、充電スタンドの底(端子部)を右図のように付属の絶縁シートで確実に覆ってください。

STEP
2

バッテリーパックの取り付け/外し

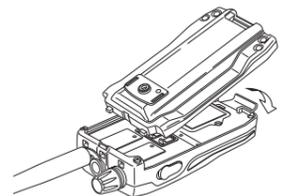
1 バッテリーパックの取り付け方

- ①バッテリーパックのツメを本体の溝に合わせます。
- ②バッテリーパックを矢印の方向に押し込みます。
- ③「カチッ」と音がするまでラッチを閉じます。



2 バッテリーパックの取り外し方

バッテリーパックからラッチを矢印の方向に外し、バッテリーパックを取り外します。

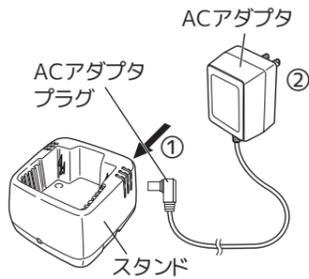


⚠ 注意

- ・バッテリーパックは出荷時には満充電されておりません。お買い上げ後に充電してからご使用ください。
- ・充電は0℃~40℃の温度範囲内でおこなってください。
- ・バッテリーパックの端子は絶対にショートさせないでください。機器の損傷や、バッテリーの発熱による火傷の原因となることがあります。
- ・必要以上の長時間の充電(過充電)はバッテリーの性能を低下させますので避けてください。

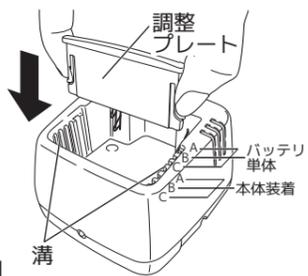
1 充電スタンドと AC アダプタを準備する

- ① ACアダプタプラグを、スタンド背面のDC-IN ジャックに接続します。
- ② アダプタをコンセントに接続します。



2 充電スタンドの調整

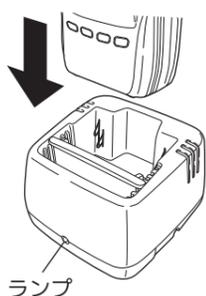
ここでは標準付属品のリチウムイオンバッテリーパック (EBP-63)の充電方法を説明します。調整プレートの両端を指で押さえたまま、バッテリーパックの大きさに合うスタンドの溝に調整プレートを取り付けます(左右の文字(A、B、C)が一致するように調整プレートを取り付けます)。プレートはスタンドの底までしっかりと押しこみます。



参考:
EBP-63を本体に取り付けて充電する場合は前方両側のAの位置に、EBP-63のみを差し込んで充電する場合は後方両側のAの位置に調整プレート合わせて取り付けてください。

3 バッテリーパックを充電する

図のようにスタンドにバッテリーパックを取り付けます。充電中は電源を切ります。(図は、バッテリーパックを本体に取り付けたまま充電する場合のものです。本体から取り外してバッテリーパックのみをスタンドに入れることもできます。)スタンドのランプが赤色に点灯し、充電が始まります。(充電が終了するとスタンドのランプは消灯します。)



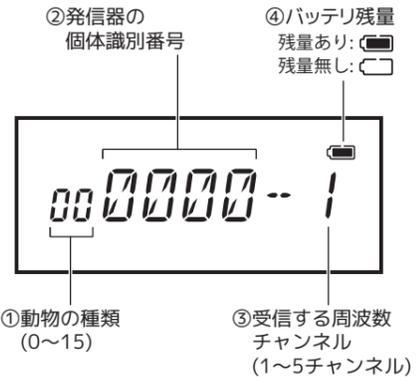
参考:
付属の充電スタンド(EDC-144)を使用して、放電状態から約2時間で充電できます。本体にバッテリーパックを装着した状態でうまく充電できない場合は、バッテリーパック単体で充電して異常がないかご確認ください。

1 電源を入れる



- ① キーを長く(約1秒間)押しと電源が入ります。電源を切るときも同じ操作をします。

2 液晶画面の点灯確認



3 受信する周波数の変更

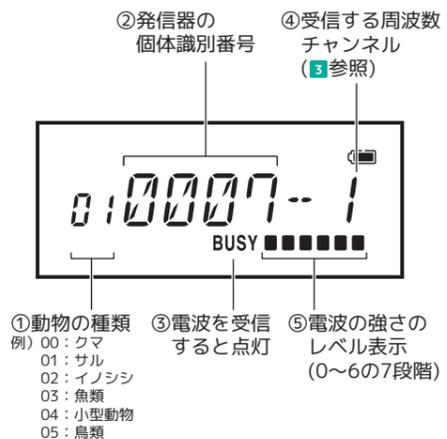


本体上部のダイヤルを回すと、回す方向に応じて周波数チャンネルが1chずつ増加または減少します。(⇨⇨5⇨1⇨2⇨3⇨4⇨5⇨1⇨⇨)

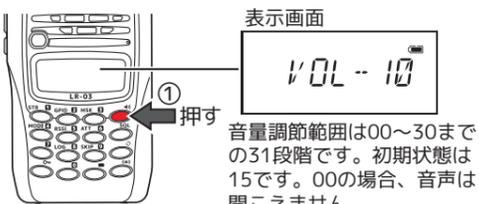
1ch: 142.94MHz, 2ch: 142.95MHz
3ch: 142.96MHz, 4ch: 142.97MHz
5ch: 142.98MHz

4 発信器情報の受信確認

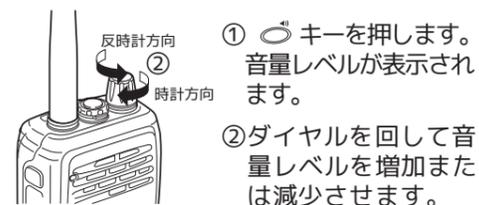
発信器のマグネットを外し、電波を発信させ、本機の液晶画面で電波の受信を確認します。



1 スピーカの音量変更

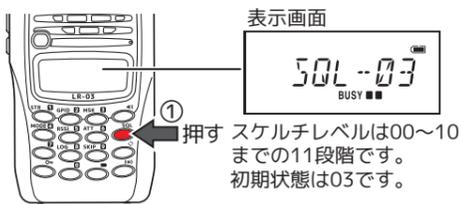


表示画面
VOL-10
音量調節範囲は00~30までの31段階です。初期状態は15です。00の場合、音声は聞こえません。

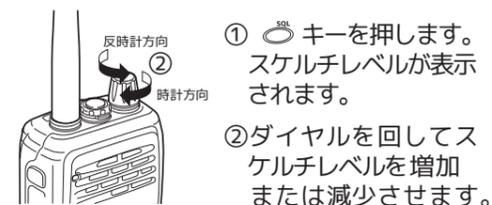


- ① 〇キーを押します。音量レベルが表示されます。
- ② ダイヤルを回して音量レベルを増加または減少させます。

2 スケルチレベルの変更

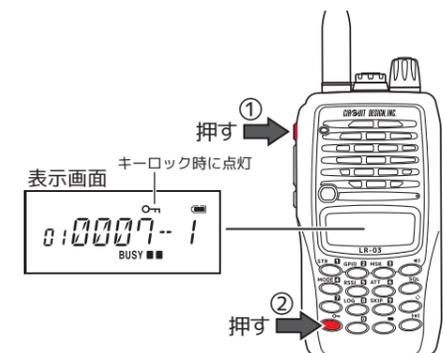


表示画面
SQL-03
スケルチレベルは00~10までの11段階です。初期状態は03です。



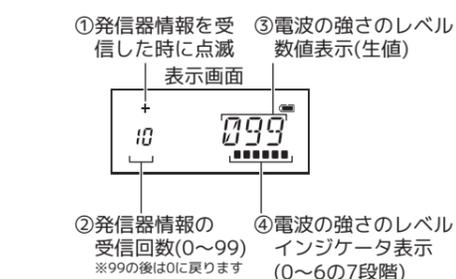
- ① 〇キーを押します。スケルチレベルが表示されます。
- ② ダイヤルを回してスケルチレベルを増加または減少させます。

3 キーロック



- ① 本機横のFUNCキーを押します。
- ② 〇キーを押します。表示画面にONが表示されます。
- ③ キーロックを解除するときは、上記①②の操作を再度行います。

4 電波の強さの確認

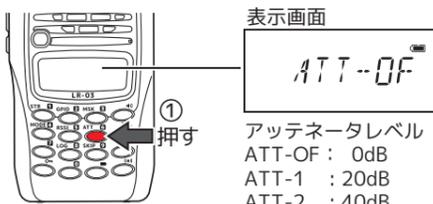


〇キーを押します。機能の終了は、MONIキー以外のキーを押すと通常表示に戻ります。

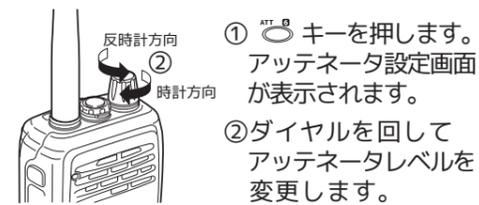
① 発信器情報を受信した時に点滅表示画面
② 発信器情報の受信回数(0~99) ※99の後は0に戻ります
③ 電波の強さのレベル数値表示(生値)
④ 電波の強さのレベルインジケータ表示(0~6の7段階)

※下記以外の特殊機能は取扱説明書を参照願います。

1 アッテネータ (ATT) の使用

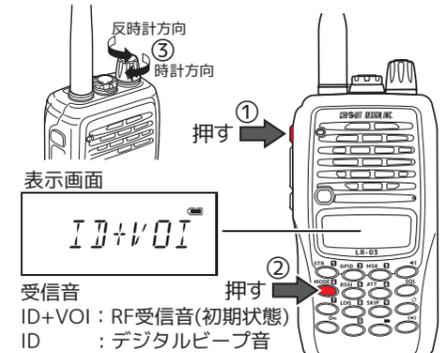


表示画面
ATT-OF
アッテネータレベル
ATT-OF: 0dB
ATT-1: 20dB
ATT-2: 40dB



- ① 〇キーを押します。アッテネータ設定画面が表示されます。
- ② ダイヤルを回してアッテネータレベルを変更します。(ディスプレイにATTが表示されます)

2 受信音の設定



表示画面
ID+VOI
受信音
ID+VOI: RF受信音(初期状態)
ID: デジタルビープ音

- ① 本機横のFUNCキーを押します。
- ② 〇キーを押します。受信音設定画面が表示されます。
- ③ ダイヤルを回して受信音を変更します。
- ④ MONIキー以外のキーを押して設定を終了します。

⚠ 注意

■ 受信機本体の取扱いについて

- イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。
- この受信機本体は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。
- 水などでぬれやすい場所(風呂場など)では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 水をかけたり、水が入ったりしないよう、またぬらさないようご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。
- 近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。